

「反抗期の頃の自分」

3年 A.W

私には父、母、兄の3人の家族がいます。家族と特に仲が悪い訳ではなく、どちらかという仲の良い方だと思います。しかし、小学生の終わりから中学2年まで家族と過ごすことがとても嫌でした。毎週のように友達と遊んだり、自分の部屋にこもったりして過ごしていました。平日も休日も食事中はなるべく話さず、話しかけられたら「うん」か「いや」と一言で済ませるようにしていました。

年末に家の大掃除をしていると家族の色々な写真が出てきました。それを見てみるとちょうど家族といたくないと思っていた頃の写真があり、その写真の私は全く笑っておらず、むしろ怒った顔をしていました。その中でも小学5年生の頃の写真で父もこんな写真撮りたくなかっただろうと思うほど怒った顔の写真が出てきました。それは父と2人で出かけた日の写真でした。

その日は母が仕事、兄は友達と遊びに行っていて、父と私だけが暇だった日でした。父が出かけよう、とさそってくれたのはきっと父なりに距離を縮めようとしてくれていたのだと思います。断わると勉強しなければいけないだろうと思った私は乗り気ではありませんでしたが一緒に出かけることにしました。しかし車の中で会話はなく、昼食をとっているときも一言二言話すくらいでした。海の前で写真を撮ってあげると言われて、不機嫌な顔で撮ってもらった覚えがあります。今考えると父はせっかく出かけようと言ってくれたのにひどいことをしたと思います。もし私が父の立場でその頃の自分と一緒に出かけろと言われてたら絶対に出かけたくない相手だと思います。

他にも父には色々としり訳ないことをしてきた覚えがあります。

しかし中学2年生の頃に自分が練習しているベースがなかなか上達せずに悩んだことがありました。上手くできずに練習していても楽しいと思えなかったので何日か練習せずにいると一番最初に気がついてくれたのは父でした。なぜ練習しないのかと聞かれた時、上手くできないからと言ったら怒られると思いましたが、言い訳する気にならず、正直に言いました。すると父は怒らずに話を全て聞いてくれました。アドバイスまでもらい、今まで自分が父にしていたひどい態度がすごく申し訳なく思いました。父は私の話をしっかり聞いて色々と考えてくれていたのに私は自分の気持ちだけしか考えておらず、深く反省しました。

今はあまり家族に対して冷たい態度をとることはありませんが、少し腹が立ったときなどに冷たい態度を取ってしまうことがあります。

思い出は家族で特別どこかに出かけたことだけではなく、ふつうの日常のことも指すと思います。しかし私はあまり家族と話さないような生活を何年か送っていたので、その間は良い思い出があまり多くありません。仮に私が成人するまでを家族と一緒にいられる時間とすると意外と少ないです。その家族と一緒にいられる少ない時間を大切に、冷たい態度をとってしまった時間の分、たくさんの思い出を家族でつくりたいです。また、そのためにも自分の気持ちだけで行動せずに、周囲のことをもっと考えられるようにしていきたいです。